

目コード:130017

[illegible]

担当教員	打出喜義(非)												
実務経験	現役医師が講師となり、実務経験を講義に活かした実践的教育を行っている。												
開講年次	2年次後期			単位数			1		授業形態			講義	
必修・選択	必修			時間数			15						
該当ディプロマ・ポリシー	(1)		(2)	◎	(3)	○	(4)		(5)		(6)		
Keywords													
学習目的・目標	母性看護に特徴的な疾病の原因、臨床症状、診断・治療方法について理解する。												
授業計画・内容													
回	内容												
1	女性生殖器の構造と機能 (外性器と内性器、性分化と性腺の発生、性周期と月経異常、第2次性徴)												
2	妊娠・分娩・産褥のメカニズム (妊娠の成立・診断、胎盤と羊水の生理、分娩の3要素、分娩機転、産後の月経発来)												
3	妊娠の異常と治療 (糖代謝異常合併妊娠、妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、血液型不適合妊娠、多胎妊娠、切迫流産、過期妊娠、異所性妊娠)												
4	分娩の異常と治療1 (児頭骨盤不均衡、陣痛の異常、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、臍帯下垂・臍帯脱出、子宮破裂)												
5	分娩の異常と治療2・産褥の異常と治療 (分娩遅延、胎児機能不全、頸管裂傷、癒着胎盤、弛緩出血、産褥熱、産褥血栓症)												
6	女性生殖器疾患の診断と治療 (子宮内膜症、子宮筋腫、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣腫瘍)												
7	性感染症(STD)とHIV／AIDS												
8	まとめ												
教科書	末岡 浩他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9]女性生殖器(医学書院) 小林康江他編:母性看護学<2> 第3版 母性看護の実践(ナースング・グラフィカ)(メディカ出版)												
参考図書等													
評価指標	定期試験で60点以上(100点満点)を合格とする。												
関連科目	生命倫理学、解剖生理学、人間病態学(病気の成り立ち)、人間病態学演習Ⅰ、人間病態学演習Ⅱ、母性看護学概論、母性看護方法論、母性看護方法論演習、母性看護学実習												
教員から学生へのメッセージ													